

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	上	8	7	4	4

大単元(題材名)	1. 大きい数のしくみ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 億や兆という単位を知り、整数の命数法、記数法についての理解を深めることができる。 ○ 整数の10倍、1/10にした数をつくることにより、整数が十進位取り記数法で表されていることの理解を深めることができる。 ○ どんな大きさの整数でも、0～9の10個の数字を使って表すことができることがわかる。 ○ (3位数)×(3位数)の筆算のしかたがわかり、計算することができる。 ○ 乗数に0を含む乗法や被乗数、乗数の末位に0がある乗法の筆算の方法が分り、工夫して計算することができる。
思・判・表	○ 0～9の10個の数字を使って、いろいろな大きさの整数を考えることができる。 ○ (3位数)×(3位数)の筆算のしかたを既習の筆算方法から類推して考えることができる。 ○ 乗数に0を含む乗法や被乗数、乗数の末位に0がある乗法の筆算方法の工夫を考えることができる。 ○ 乗法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 0～9の10個の数字を使って、いろいろな大きさの整数をつくらうとしている。 ○ 大きな数の乗法の筆算方法を既習の計算方法から類推して考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 億や兆という単位を知り、千兆の位までの数を、読んだり書いたりしている。 ○ 整数の10倍、1/10にした数の表し方と、位の変わり方を理解している。 ○ どんな大きさの整数でも、0～9の10個の数字を使って表せることを理解している。 ○ ある位の数が10個集まると、1つ上の位ができることを理解している。 ○ 何の位に数字を書くかによって、表す大きさが変わることを理解している。 ○ (3位数)×(3位数)の計算を筆算でしている。 ○ 乗数に0を含む乗法や被乗数、乗数の末位に0がある乗法の計算を、工夫して筆算でしている。	A(1)ア(ア) A(1)ア(ア) A(1)ア(ア) A(1)ア(ア) A(1)ア(ア) A(1)ア(ア) A(1)ア(ア)
思・判・表	○ 0～9の10個の数字を使って、いろいろな大きさの整数を考え、説明している。 ○ (3位数)×(3位数)の筆算方法を既習の筆算方法から類推して考え、説明している。 ○ 乗数に0を含む乗法や被乗数、乗数の末位に0がある乗法の筆算方法を工夫して考え、説明している。 ○ 乗法を使って、適用問題を解いている。	A(1)イ(ア) A(1)イ(ア) A(1)イ(ア) A(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 0～9の10個の数字を使って、一番大きい数や一番小さい数などを進んでつくっている。 ○ 被乗数、乗数の末位に0がある乗法の筆算方法について、計算のきまりを工夫して使えないかを考え、友だちと話し合っている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 大きい数のしくみ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 大きい数のしくみ①	1	○ 一億、十億、百億、千億の位を知り、千億の位までの数を、読んだり書いたりする。	(1)ア
1. 大きい数のしくみ②	1	○ 一兆、十兆、百兆、千兆の位を知り、千兆までの数を、読んだり書いたりする。	(1)ア
		・ 兆という単位を知る。	
2. 10倍した数、1/10にした数①	1	○ 大きな数を10倍、1/10にしたときの、位の変わり方を理解する。	(1)イ
2. 10倍した数、1/10にした数②	1	○ 整数の表し方のしくみを知る。	(1)イ
		・ 整数の表し方について、十進位取り記数法をまとめる。	
3. かけ算①	1	○ (3位数)×(3位数)の筆算のしかたを知り、計算する。	(1)イ, ウ
		・ 和、差、積、商の用語と意味を知る。	
3. かけ算②	1	○ 乗数に0があるときの筆算を、工夫して計算する。	(1)イ

まとめ	1	○ 「たしかめよう」で、大きい数のしくみの基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で、整数のしくみに注目して整数の表し方をまとめる。	

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	4	東書	上	20	9	4	5		

大単元(題材名)	2. 折れ線グラフと表		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	D データの活用		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 折れ線グラフから、資料の変化の様子や特徴を読み取ることができる。
	○ 資料を折れ線グラフに表すことができる。
	○ 資料を目的に応じて2つの観点で分類整理し、二次元表にまとめ、資料の特徴を読み取ることができる。
	○ 資料を2つの観点で4つに分類整理し、落ちや重なりがなく二次元表にまとめ、読み取ることができる。
	○ 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを読み取ることができる。
思・判・表	○ 折れ線グラフにあらわれた資料の変化の様子を読みとり、その特徴について考察することができる。
	○ 資料を2つの観点で分類整理して表した二次元表から、資料の特徴を考察することができる。
	○ 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを読み取り、2つの量の関係を考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 折れ線グラフや二次元表の特徴について考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 折れ線グラフでは、線の傾きが急であるほど、変わり方が大きいことを理解している。	D(1)ア(ア)(イ)
	○ 資料を折れ線グラフに表している。	D(1)ア(ア)(イ)
	○ 2つの事象の変わり方を1つのグラフ用紙に表すよさを理解している。	D(1)ア(ア)(イ)
	○ 波線でグラフの一部を省略して縦軸の幅を変えると、変化の様子が見やすくなることを理解している。	D(1)ア(ア)(イ)
	○ 資料を目的に応じて2つの観点で分類整理し、二次元表に表している。	D(1)ア(ア)(イ)
	○ 資料を2つの観点で4つに分類整理し、落ちや重なりがなく二次元表に表している。	D(1)ア(ア)(イ)
	○ 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを読んでいる。	D(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 折れ線グラフの特徴を考え、説明している。	D(1)イ(ア)
	○ 2つ以上の折れ線グラフを比較し、その変化の特徴を考え、説明している。	D(1)イ(ア)
	○ 資料を2つの観点で分類整理して二次元表に表し、その特徴を説明している。	D(1)イ(ア)
	○ 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを読み取り、2つの量の関係を考え、説明している。	D(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフから、2つの量の相関関係を粘り強く考えている。	
	○ 資料を2つの観点で分類整理して表した二次元表から、資料の特徴をわかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3年	ばうグラフと表

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.折れ線グラフ①	1	○ 折れ線グラフの特徴を知り、折れ線グラフを読む。 ・ 折れ線グラフの用語を知る。	(1)ア
1.折れ線グラフ②	1	○ 折れ線グラフの変わり方を話し合う。	(1)ア, ウ
1.折れ線グラフ③	1	○ 折れ線グラフのかき方を理解し、2つの折れ線グラフを重ねて変わり方の違いを話し合う。	(1)ア
1.折れ線グラフ④	1	○ 変わり方を見やすくする方法を知る。 ・ 目盛りのとり方を変えることで見え方が変わることがわかる。 ・ 波線を使って途中を省けることがわかる。	(1)ア
1.折れ線グラフ⑤	1	○ 1日の気温の変わり方を折れ線グラフに表し、気づいたことを話し合う。	(1)ア, ウ
2.整理のしかた①	1	○ けがの種類と場所について二次元表にまとめ、気づいたことを話し合う。 ・ 二次元表の表し方や、特徴の調べ方がわかる。	(1)ア, ウ
2.整理のしかた②	1	○ 資料を2つの観点で4つに分類整理し、二次元表にまとめる。	(1)ア, ウ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で、折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを読む。	(1)ア, ウ
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で、折れ線グラフと表の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、データの特徴に注目して目的に合ったグラフを考える。	

2022	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
算数	4	東書	上	36	~	54	11	5	~	6

大単元(題材名)	3. わり算の筆算(1)－わる数が1けた		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目	C 国際理解, 国際親善		

【到達目標】

知・技	○ (2位数)÷(1位数)の計算を筆算ですることができる。
	○ (2位数)÷(1位数)で, あまりのある筆算のしかたがわかる。また, 検算のしかたが分かる。
	○ (3位数)÷(1位数)の計算を筆算で計算することができる。
思・判・表	○ 十の位がわりきれない(2位数)÷(1位数)の筆算のしかたや十の位がわりきれ(2位数)÷(1位数)の筆算のしかたを考えることができる。
	○ 被除数のけた数が増えても, 既習の計算方法から類推して計算方法を考えることができる。
	○ 除法を使って, 適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)÷(1位数), (3位数)÷(1位数)の筆算のしかたを考え, その考えについて友だちと話し合い, 自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ (2位数)÷(1位数)の筆算のしかたを理解し, 筆算で計算している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ あまりのある除法で, 検算の方法を理解し, 答えの確かめをしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ (2位数)÷(1位数)で, 商に0がたつ計算を筆算で計算している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ (3位数)÷(1位数)の筆算のしかたを理解し, 筆算で計算している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ (3位数)÷(1位数)で, 商に0がたつ計算を筆算でしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ (3位数)÷(1位数)で, 商が2けたになる計算を筆算でしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 十の位がわりきれない(2位数)÷(1位数)の筆算のしかたや十の位がわりきれ(2位数)÷(1位数)の筆算のしかたを考え, 説明している。	A(3)イ(ア)
	○ 被除数のけた数が増えても, 既習の計算方法から類推して計算方法を考え, 説明している。	A(3)イ(ア)
	○ 除法を使って, 適用問題を解いている。	A(3)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 被除数のけた数が増えても, 既習の計算方法が使えないかを考え, 友だちと話し合っている。	
	○ 友だちが考えた計算方法を聞いて, 自分の考えを見直している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
2	年 かけ算(1) / かけ算(2)
3	年 わり算 / あまりのあるわり算
3	年 大きい数のわり算, 分数とわり算

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.何十, 何百のわり算	1	○ (何十)÷(何), (何百)÷(何)の計算のしかたを考える。	(1)ア, ウ
2.わり算の筆算(1)①	1	○ (2位数)÷(1位数)の計算で, 十の位がわりきれないときの除法のしかたを考える。 ・ $72 \div 3$ の計算のしかたを考える。	(1)ア, ウ
2.わり算の筆算(1)②	1	○ $72 \div 3$ の計算で, 筆算のしかたを考える。 ・ $72 \div 3$ の答えの確かめをする。「けん算」という用語を知る。	(1)ア
2.わり算の筆算(1)③	1	○ (2位数)÷(1位数)で, あまりのある除法の筆算のしかたを考える。	(1)ア
2.わり算の筆算(1)④	1	○ 十の位がわりきれぬ(2位数)÷(1位数)で, あまりのある除法の筆算のしかたを考える。 ・ $86 \div 4$, $62 \div 3$ の筆算のしかたを考える。	(1)イ, ウ
2.わり算の筆算(1)⑤	1	○ (3位数)÷(1位数)の筆算のしかたを考える。	(1)ア
2.わり算の筆算(1)⑥	1	○ (3位数)÷(1位数)で, 商の一の位や十の位に0がたつ筆算のしかたを考える。	(1)イ, ウ
3.わり算の筆算(2)	1	○ (3位数)÷(1位数)で, 商が2けたになる筆算のしかたを考える。	(1)ア
4.暗算	1	○ 除法の暗算のしかたを考える。	(1)ア, イ
		・ 「ますりんつうしん」で, 世界の国の除法の筆算のしかたを知り, 筆算の理解を深める。	
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で, 日常場面で除法を用いて問題解決をする。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で, 除法の筆算の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で, 数のしくみに注目して, 除法の筆算のしかたを考える。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	上	56	9	6	6

大単元(題材名)	4. 角の大きさ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 図形		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 角を回転角として捉え、半回転や1回転の角の大きさを、直角を単位として表すことができる。
	○ 分度器のしくみを理解し、いろいろな角度を測定することができる。
	○ 三角定規のそれぞれの角の大きさがわかる。
	○ 分度器を使って、与えられた角の大きさを作図することができる。
	○ 角の作図のしかたを活用して、三角形を作図することができる。
思・判・表	○ 180°より大きい角度の測り方やかき方を考え、説明することができる。
	○ 角の作図のしかたを活用して、三角形を作図し、どのように作図したかを説明することができる。
	○ 角の大きさを利用して、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 180°より大きい角度の測り方やかき方を考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 角を回転角として、捉えることを理解している。	B(5)ア(ア)(イ)
	○ 分度器を使って、いろいろな角度を測定している。	B(5)ア(ア)(イ)
	○ 三角定規のそれぞれの角の大きさを理解している。	B(5)ア(ア)(イ)
	○ 分度器を使って、与えられた角の大きさを作図している。	B(5)ア(ア)(イ)
	○ 角の作図のしかたを活用して、三角形を作図している。	B(5)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 180°より大きい角度の測り方を考え、説明している。	B(5)イ(ア)
	○ 180°より大きい角度のかき方を考え、説明している。	B(5)イ(ア)
	○ 角の作図のしかたを活用して、三角形を作図し、どのように作図したかを説明している。	B(5)イ(ア)
	○ 角の大きさを利用して、適用問題を解いている。	B(5)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 180°より大きい角度の測り方やかき方を考え、友だちと話し合っている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 三角形と角

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
角の大きさ①	1	○ 角を回転角として捉え、2直角、3直角、4直角を知る。	(1)イ
角の大きさ②	1	○ 角の大きさの単位「度(°)」と、1直角 = 90°を知る。	(1)イ, ウ
角の大きさ③	2	○ 分度器の使い方を知り、分度器を使っていろいろな角度をはかる。	(1)イ, ウ
		・ 1組の三角定規のそれぞれの角度を知る。	
		・ 2本の直線が交わってできる向かい合った角度を測ったり、計算で求めたりする。	
角の大きさ④	1	○ 180°より大きい角度の測り方を考え、説明する。	(1)イ, ウ
		・ 180°より大きい角度について、180°と残りの部分に分けたり、360°からひいたりする2人の考え方を説明する。	
角の大きさ⑤	2	○ 分度器を使って、三角形(2角夾辺)を作図したり、いろいろな大きさの角を作図したりする。	(1)イ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で、身の回りの傾いているところの角度をはかる。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で、角度の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で、もとにする大きさに注目して量の表し方や角度の求め方を考える。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	上	74	13	6	7

大単元(題材名)	5. 小数のしくみ		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 1/1000の位までの小数の表し方や大きさがわかる。
	○ 小数の大小を比較したり，相対的な大きさを指摘したりすることができる。
	○ 小数は，十進位取り記数法で表されていることをもとに，10倍，100倍，1/10，1/100にした数がわかる。
	○ 小数の加法，減法の計算を筆算でできる。
思・判・表	○ 小数をいろいろな見方で表すことを考えることができる。
	○ 小数の加減法の筆算方法を，小数のしくみをもとに考えることができる。
	○ 小数の加法，減法を使って，適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな見方で小数を表すことを考え，考えたことを友だちと話し合い，自分の考えを見直してまとめようとする。
	○ 小数の加減法の筆算方法を小数のしくみをもとに考え，考えたことを友だちと話し合い，自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 1/1000の位までの小数の表し方や大きさを理解している。	A(4)ア(イ)(ウ)
	○ 小数の大小を比較したり，相対的な大きさを指摘したりしている。	A(4)ア(イ)(ウ)
	○ 小数を10倍，100倍，1/10，1/100にしたときの，位の変わり方を理解している。	A(4)ア(イ)(ウ)
	○ 小数第三位までの加法を筆算でしている。	A(4)ア(イ)(ウ)
	○ 小数点以下のけた数がちがう加法や，答えの末位の0を消す加法を筆算でしている。	A(4)ア(イ)(ウ)
	○ 小数第三位までの減法を筆算でしている。	A(4)ア(イ)(ウ)
	○ 小数点以下のけた数がちがう減法や，答えが純小数になる減法を筆算でしている。	A(4)ア(イ)(ウ)
思・判・表	○ 1つの小数をいろいろな見方で表し，説明している。	A(4)イ(ア)
	○ 小数の加減法の筆算方法を小数のしくみをもとに考え，説明している。	A(4)イ(ア)
	○ 小数の加法，減法を使って，適用問題を解いている。	A(4)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 1つの小数をいろいろな見方で表すことを考えようとしている。また，友だちの見方を聞いて，自分の見方を見直している。	
	○ 小数の加減法の筆算方法を小数のしくみをもとに考え，友だちの考えを聞いて，自分の考えを見直している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 小数(1/10の位まで)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.小数の表し方①	1	○ 0.1Lより小さいかさの表し方を考える。 ・ 1/100の位までの小数の読み方を知る。	(1)ア
1.小数の表し方②	1	○ 0.01mより短い長さの表し方を考える。 ・ 1/1000の位までの小数の読み方を知る。	(1)イ
2.小数のしくみ①	1	○ 小数と整数の関係や小数のしくみを考える。 ・ 1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べたり, 4.384のしくみを調べたりする。	(1)イ, ウ
2.小数のしくみ②	1	○ 小数の大きさの比べ方を考える。	(1)イ
2.小数のしくみ③	1	○ 小数を10倍, 1/10にしたときの位の変わり方を考える。	(1)イ
2.小数のしくみ④	1	○ 小数を0.01のいくつ分で表す方法を考える。	(1)イ
3.小数のたし算とひき算①	1	○ (小数第二・三位)+(小数第二・三位)の計算のしかたを考え, 筆算で計算する。	(1)ア, ウ
3.小数のたし算とひき算②	1	○ 小数点以下のけた数がちがう加法や, 答えの末位の0を消す加法のしかたを考え, 筆算で計算する。	(1)イ, ウ
3.小数のたし算とひき算③	1	○ (小数第二・三位)-(小数第二・三位)の計算のしかたを考え, 筆算で計算する。	(1)ア, ウ
3.小数のたし算とひき算④	1	○ 小数点以下のけた数がちがう減法や, 答えが純小数になる減法のしかたを考え, 筆算で計算する。	(1)イ, ウ
3.小数のたし算とひき算⑤	1	○ 3.45について, いろいろな見方を考える。	(1)イ
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で, 日常場面で小数を用いて問題解決する。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で, 小数の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で, 小数のしくみに注目して, 小数のしくみをまとめたり, 小数の加減計算を考えたりする。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	上	94	2	7	7

大単元(題材名)	そろばん		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ そろばん上に億や兆，小数第二位までの数をおいたり，はらったりできる。
	○ そろばんで，億や兆の単位の加減計算や，小数第二位までの加減計算ができる。
思・判・表	○ そろばんで，大きな数や小数の計算のしかたを考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ そろばんの有用性が，億や兆の大きい数や小数第二位の小数に広がり，さらに活用しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ そろばん上に億や兆，小数第二位までの数をおいたり，はらったりしている。	A(8)ア(ア)
	○ そろばんで，億や兆の単位の加減計算や，小数第二位までの加減計算をしている。	A(8)ア(ア)
思・判・表	○ そろばんで，大きな数や小数の計算のしかたを考え，説明している。	A(8)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ そろばんによる計算のよさを学習感想に書いたり，そろばんの練習をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3 年	そろばん
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
そろばん①	1	○ そろばんにおいた大きな数や小数を読んだり，数をそろばんに入れたりする。	(1)イ
そろばん②	1	○ 小数の加減計算，億や兆の単位の加減計算をする。	(1)イ

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	4	東書	上	96	~ 113	14	9	~ 9	

大単元(題材名)	6. わり算の筆算(2)－わる数が2けた		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 何十や何百何十を何十でわる除法の計算原理や方法を理解し、計算することができる。
	○ (2位数)÷(2位数)の計算を筆算することができる。
	○ (3位数)÷(2位数)の計算で、商が1けた、2けたになる計算を筆算することができる。
	○ 末位に0のある除法を簡便な筆算することができる。
	○ 被除数と除数に同じ数をかけても、被除数と除数を同じ数でわっても、商は変わらないことを知り、工夫して計算することができる。
思・判・表	○ (2位数)÷(2位数), (3位数)÷(2位数)の筆算のしかたを、既習事項をもとに考えることができる。
	○ 除法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ (2位数)÷(2位数), (3位数)÷(2位数)の筆算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 何十や何百何十を何十でわる除法の計算原理や方法を理解している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 何十や何百何十を何十でわる計算をしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ (2位数)÷(2位数)の計算の筆算方法を理解している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ (2位数)÷(2位数)の計算を筆算でしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ (3位数)÷(2位数)の計算で、商が1けた、2けたになる計算を筆算でしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 末位に0のある除法を簡便な筆算でしている。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
	○ 除法の性質を使って、工夫して計算している。	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)
思・判・表	○ 既習の1けたでわる計算をもとに、2けたでわる計算のしかたを説明している。	A(3)イ(ア)
	○ 除法を使って、適用問題を解いている。	A(3)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 2けたでわる計算のしかたを考え、その考えを友だちと話し合っている。	
	○ 除法の性質を使って、工夫した計算のしかたを、わかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
4	年 わり算の筆算(1)－わる数が1けた

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 何十でわる計算	1	○ (何十)÷(何十)の計算のしかたを知り, 計算する。	(1)ア
2. 2けたの数でわる筆算(1)	1	○ (2位数)÷(2位数)の計算(仮商修正なし)で, 筆算のしかたを考える。 ・ 除数を何十とみて商の見当をつける筆算のしかたを知り, 筆算をする。	(1)ア, ウ
2. 2けたの数でわる筆算(1)	1	○ あまりのある(2位数)÷(2位数)の計算(仮商修正なし)で, 筆算のしかたを考える。ま	(1)イ
2. 2けたの数でわる筆算(1) ③	1	○ (2位数)÷(2位数)の計算で, 見当をつけた商を小さくする筆算のしかたを知り, 筆算 でする。 ・ 過大商をたてたときの仮商修正の筆算のしかたがわかり, 計算する。	(1)イ, ウ
2. 2けたの数でわる筆算(1) ④	1	○ (2位数)÷(2位数)の計算で, 見当をつけた商を大きくする筆算のしかたを知り, 筆算 でする。 ・ 過小商をたてたときの仮商修正の筆算のしかたがわかり, 計算する。	(1)イ
2. 2けたの数でわる筆算(1) ⑤	1	○ (2位数)÷(2位数)の計算で, 除数の切り捨てや切り上げを選んで仮商をたてて筆算 をする。	(1)イ
2. 2けたの数でわる筆算(1)	1	○ (3位数)÷(2位数)の計算で, 商が1けたの計算を筆算でする。	(1)イ
3. 2けたの数でわる筆算(2)	1	○ (3位数)÷(2位数)の計算で, 商が2けたの計算を筆算でする。	(1)ア
3. 2けたの数でわる筆算(2)	1	○ (3位数)÷(2位数)の計算で, 商が2けたの計算練習をする。	
3. 2けたの数でわる筆算(2) ③	1	○ 商に0がたつときの筆算のしかたの工夫や, (3位数)÷(3位数)の筆算のしかたを考え る。	(1)イ
4. わり算のせいしつ①	1	○ 被除数と除数に同じ数をかけても, 被除数と除数を同じ数でわっても, 商は変わらない ことを知る。	(1)イ, ウ
4. わり算のせいしつ②	1	○ 被除数と除数の末位に0がある簡便な筆算のしかたを考える。 ・ 末位に0がある計算のしかたを説明する。	(1)イ
まとめ①	1	○ 「たしかめよう」で, 2けたの数でわる計算の基本的な学習内容を理解しているかを確認 し, それに習熟する。	
まとめ②	1	○ 「つないでいこう算数の目」で, 数の大きさに注目して, 商のたて方や計算の工夫を説 明する。	

2023

年度

教科

算数

学年

4

教科書

東書

上下

教科書ページ

上

114

～

119

配当時数

4

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	倍の見方	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	C変化と関係	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 何倍かを求めるには、除法を用いることがわかる。
	○ 何倍かした大きさを求めるには、乗法を用いることがわかる。
	○ もとにする大きさを求めるには、除法を用いることがわかる。
	○ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べるとき、割合で比べる場合があることがわかる。
思・判・表	○ もとにする大きさの何倍かを求める式を考えることができる。
	○ もとにする大きさの何倍かした量を求める式を考えることができる。
	○ もとにする大きさを求める式を考えることができる。
	○ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係の比べ方考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べるとき、割合を用いた比べ方のよさに気づき、日常生活で生かそうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 何倍かを求めるには、除法を用いることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ), A(6)ア(ウ), C(2)ア(ア)
	○ 何倍かした大きさを求めるには、乗法を用いることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ), A(6)ア(ウ), C(2)ア(ア)
	○ もとにする大きさを求めるには、除法を用いることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ), A(6)ア(ウ), C(2)ア(ア)
	○ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べるとき、割合で比べる場合があることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ), A(6)ア(ウ), C(2)ア(ア)
思・判・表	○ テーブと数直線図から、もとにする大きさの何倍かを求める式を考え、説明している。	A(3)イ(ア), A(6)イ(ア), C(2)イ(ア)
	○ テーブと数直線図から、もとにする大きさの何倍かした量を求める式を考え、説明している。	A(3)イ(ア), A(6)イ(ア), C(2)イ(ア)
	○ テーブと数直線図から、もとにする大きさを求める式を考え、説明している。	A(3)イ(ア), A(6)イ(ア), C(2)イ(ア)
	○ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係の比べ方を考え、説明している。	A(3)イ(ア), A(6)イ(ア), C(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べるとき、割合で比べることを知り、差で比べることとの違いを考え、説明している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3年	倍の計算

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
倍の計算①	1	○ 何倍かを求める計算を考える。 ・ 何倍かを求めるには、除法を用いることを知る。	(1)ア
倍の計算②	1	○ 何倍かした大きさを求める計算を考える。 ・ 何倍かした大きさを求めるには、乗法を用いることを知る。	(1)ア
倍の計算③	1	○ もとにする大きさを求める計算を考える。 ・ もとにする大きさを求めるには、除法を用いることを知る。	(1)ア
倍の計算④	1	○ 割合(倍)を使った比べる方法を考える。 ・ 包帯ののび方を比べる方法を考え、差で比べるほかにも割合(倍)を使って比べられることを知る。	(1)ア

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	4	東書	上	120	8	10	～	10	

大単元(題材名)	7. がい数の使い方と表し方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ がい数，四捨五入の用語とその意味を知り，四捨五入して概数を求めることができる。
	○ 四捨五入して求めた概数の表す範囲を，以上，以下，未満を使って表すことができる。
	○ 大きな数の和，差，積，商を概数を用いて計算し，見積もることができる。
	○ 場面に応じて，切り上げや切り捨てを用いて見積もりをする必要があることがわかる。
思・判・表	○ 大きな数の和，差，積，商の見積もりなど，数値を必要に応じた概数になおして考えることができる。
	○ 場面に応じて，切り上げや切り捨てなどの適切な処理のしかたを考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 概数が用いられる場面や概数で表す良さを考え，日常生活で生かそうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 概数，四捨五入の用語とその意味を理解している。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 四捨五入して□の位までの概数や，上から○けたの概数を求めている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 四捨五入して求めた概数の表す範囲を，以上，以下，未満を使って表している。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 大きな数の和，差，積，商の見積もりを，概数を用いて計算する良さを理解している。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 大きな数の和，差，積，商を概数を用いて計算し，見積もっている。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 多めの見積もりや少なめの見積もりが必要となる場面を理解している。	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 大きな数の和，差，積，商の見積もりなど，数値を必要に応じた概数になおして考え，説明している。	A(2)イ(ア)
	○ 場面に応じて，切り上げや切り捨てなどの適切な処理のしかたを考え，説明している。	A(2)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活の中で，概数が用いられる場面をみつけている。	
	○ 概算のよさを理解し，日常生活の中の大きな数を概算で処理している。	
	○ 場面に応じて，見積もりのしかたを変える必要があることを理解し，場面ごとに見積もりのしかたを考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
4	年 大きい数のしくみ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.およその数の表し方①	1	○ がい数の意味やがい数を「約」を使って表すことを知る。	(1)ア
1.およその数の表し方②	1	○ 四捨五入のしかたを知り，四捨五入して概数に表す。	(1)ア
1.およその数の表し方③	1	○ □の位までの概数にする方法を知り，四捨五入して□の位までの概数にする。	(1)ア
		・ 四捨五入して□の位までの概数にするとき，何の位を四捨五入すればよいかまとめる。	
1.およその数の表し方④	1	○ 上から○けたの概数にする方法を知り，四捨五入して○けたの概数にする。	(1)ア
		・ 上から○けたの概数にするとき，何の位を四捨五入すればよいかまとめる。	
1.およその数の表し方⑤	1	○ 以上，以下，未満の用語とその意味を知り，概数の範囲を以上，以下，未満を使って表す。	(1)ア
		・ 「ますりんつうしん」で，切り捨て，切り上げの意味を知り，概数の理解を深める。	
2.がい数を使った計算①	1	○ 和や差を概数で求める方法を知る。	(1)ア，ウ
2.がい数を使った計算②	1	○ 積や商を概数で求める方法を知る。	(1)ア
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で，概数の基本的な学習内容を理解しているかを確認し，それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で，場面に注目して目的に合った概数の使い方を考える。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	下	2	8	10	10

大単元(題材名)	8. 計算のきまり		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ ()のある式では, ()の中を先に計算することを理解し, 計算することができる。
	○ 四則混合計算では, 乗法や除法を先に計算することを理解し, 計算することができる。
	○ 計算の分配法則, 交換法則, 結合法則を理解し, 工夫して計算することができる。
思・判・表	○ 2段階の構造の問題を, ()を用いて1つの式に表す方法や計算の順序を考えることができる。
	○ 分配法則の意味を図や式を使って考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 2段階の構造の問題を1つの式に表す方法を理解し, 日常生活に生かそうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 加減算と()のある式では, ()の中を先に計算することを理解し, 計算している。	A(6)ア(ア)(ウ), A(7)ア(ア)
	○ 乗除算と()のある式では, ()の中を先に計算することを理解し, 計算している。	A(6)ア(ア)(ウ), A(7)ア(ア)
	○ 四則混合計算では, 乗法や除法を先に計算することを理解し, 計算している。	A(6)ア(ア)(ウ), A(7)ア(ア)
	○ 計算の分配法則, 交換法則, 結合法則を理解し, 工夫して計算している。	A(6)ア(ア)(ウ), A(7)ア(ア)
思・判・表	○ 2段階構造の問題を()を用いて1つの式に表す方法や計算の順序を考え, 説明している。	A(6)イ(ア), A(7)イ(ア)
	○ 加減と乗除の2段階構造の問題を()を用いて1つの式に表す方法や計算の順序を考え, 説明している。	A(6)イ(ア), A(7)イ(ア)
	○ 四則混合計算の計算の順序を考え, 説明している。	A(6)イ(ア), A(7)イ(ア)
	○ 分配法則の意味を, 図や式を使って説明している。	A(6)イ(ア), A(7)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 日常生活にある2段階の場面の数量の関係を, ()を用いて1つの式に表す方法を考え, 説明している。	
	○ 日常生活にある数量の関係を, 四則混合の1つの式に表し, 計算の順序を考え, 説明している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
2	年 計算のくふう
3	年 かけ算 / わり算

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 計算のじゅんじょ①	1	○ 2段階構造の場面を, ()を使って1つの式に表し, ()の中を先に計算することを理解し, 計算する。	(1)ア, ウ
1. 計算のじゅんじょ②	1	○ 加減と乗除が混じった式は, 乗除を先に計算することを理解し, 計算する。	(1)ア
1. 計算のじゅんじょ③	1	○ 四則混合の4口の式は, 乗除を先に計算することを理解する。	(1)イ
		○ 四則混合や()のある式の計算順序を確認し, 理解する。	(1)イ
1. 計算のじゅんじょ④	1	○ ドットの数のいろいろな求め方を考え, 1つの式で表す。	(1)イ, ウ
		・ 図や式から, 3人の考え方を読み取って図や言葉を使って説明する。	
2. 計算のきまりとくふう①	1	○ 計算の分配法則を理解し, 工夫して計算する。	(1)イ, ウ
2. 計算のきまりとくふう②	1	○ 計算の交換法則, 結合法則を理解し, 工夫して計算する。	(1)イ
2. 計算のきまりとくふう③	1	○ 乗法の性質を理解し, 用いて計算する。	(1)イ
		・ $3 \times 6 = 18$ をもとに, 3×60 や 30×60 の答えの求め方を考える。	
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で, 式と計算の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で, 計算のきまりを生かした計算の工夫を説明したり, 式を読み取ったりする。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	下	18	13	11	11

大単元(題材名)	9. 垂直，平行と四角形		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 図形		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 垂直の用語とその意味を理解し，垂直な直線を見つけたり，ひいたりすることができる。
	○ 平行の用語とその意味，性質を理解し，平行な直線を見つけたり，ひいたりすることができる。
	○ 台形，平行四辺形，ひし形の用語とその定義や性質を理解し，それらを弁別したり，作図したりすることができる。
	○ 対角線の用語とその意味を理解し，対角線に着目していろいろな四角形を考察したり，対角線を用いていろいろな四角形を作図したりすることができる。
思・判・表	○ 2本の直線の並び方を，ほかの1本の直線との交わり方に着目して考えることができる。
	○ 台形や平行四辺形の特徴を，辺の並び方に着目して考えることができる。
	○ ひし形の性質を，対辺や対角に着目して考えることができる。
	○ 対角線に着目して，いろいろな四角形の性質を捉えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな四角形について，それぞれの図形を構成する要素に着目し，図形の性質を見いだそうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 垂直の用語とその意味を理解し，垂直な直線を見つけたり，ひいたりしている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 平行の用語とその意味，性質を理解し，平行な直線を見つけたり，ひいたりしている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 平行な直線は，ほかの直線と等しい角度で交わることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 台形，平行四辺形の定義を理解し，2本の平行な直線を使って，台形，平行四辺形をかいている。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 平行四辺形の性質を理解し，作図している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ ひし形の定義や性質を理解し，作図している。	B(1)ア(ア)(イ)
	○ 対角線の用語とその意味を理解し，いろいろな四角形の対角線の特徴を調べている。	B(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 2本の直線の並び方を，ほかの1本の直線との交わり方に着目して説明している。	B(1)イ(ア)
	○ 台形や平行四辺形の特徴を，辺の並び方に着目して説明している。	B(1)イ(ア)
	○ ひし形の性質を，対辺や対角に着目して説明している。	B(1)イ(ア)
	○ 2本の対角線からできる四角形の名前を，四角形の対角線の特徴から説明している。	B(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな四角形の特徴から，長方形は平行四辺形の特別な場合であることを説明している。	
	○ いろいろな四角形の特徴から，正方形はひし形の特別な場合であることを説明している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
2	年 長方形と正方形
4	年 角の大きさ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.直線の交わり方①	1	○ 垂直の用語とその意味を知り，垂直な直線を弁別する。	(1)イ
1.直線の交わり方②	1	○ 1つの直線に垂直な直線のひき方を理解し，垂直な直線をひく。	(1)イ
2.直線のならび方①	1	○ 平行の用語とその意味を知り，平行な直線を弁別する。	(1)イ
2.直線のならび方②	1	○ 平行な直線は，ほかの直線と等しい角度で交わることで，平行な直線の幅は，どこも等しくなっていることを理解する。	(1)イ
2.直線のならび方③	1	○ 1つの直線に平行な直線のひき方を理解し，平行な直線をひく。	(1)イ
2.直線のならび方④	1	○ 方眼を使って，垂直や平行な直線をひく。	(1)イ
3.いろいろな四角形①	1	○ 台形，平行四辺形の定義を理解し，方眼や2本の平行な直線を使って，台形や平行四辺形をかく。	(1)イ
3.いろいろな四角形②	1	○ 平行四辺形の性質を理解する。	(1)イ
3.いろいろな四角形③	1	○ 平行四辺形のかき方を考え，平行四辺形をかく。	(1)イ，ウ
3.いろいろな四角形④	1	○ ひし形の定義と性質を理解する。	(1)イ
4.対角線と四角形の持ちよう	1	○ いろいろな四角形の対角線の特徴を調べ，理解する。	(1)イ
		・ 「対角線」の用語とその意味を知る。	
まとめ①	1	○ 「いかしてみよう」で，同じ形(合同)の平行四辺形を敷き詰めたり，身の回りから四角形を探したりする。	(1)イ
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で，垂直，平行と四角形の基本的な学習内容を理解しているかを確認し，それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で，辺の並び方や対角線の交わり方に注目して四角形をまとめる。	

2023	年度								
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月			
算数	4	東書	下	40	9	12	~	12	

大単元(題材名)	10. 分数		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 真分数、仮分数、帯分数の用語とその意味を知り、仮分数を帯分数や整数で表したり、帯分数を仮分数で表したりすることができる。
	○ 分母や分子がちがっても大きさの等しい分数があることを理解し、大きさの等しい分数をみつけたり、大小比較をしたりすることができる。
	○ 同分母分数の加法、減法の意味や計算方法を理解し、立式したり、計算したりすることができる。
思・判・表	○ 帯分数の加法や減法で、くり上がりのある加法、くり下がりのある減法の計算方法を考えることができる。
	○ 分数の加法、減法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 同分母分数の計算のしかたを考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 真分数、仮分数、帯分数の用語とその意味を理解している。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 仮分数と帯分数の関係を知り、仮分数を帯分数か整数で表している。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 帯分数と仮分数の関係を知り、帯分数を仮分数で表している。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 分母や分子がちがっても大きさの等しい分数があることを理解している。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 分子が等しい分数では分母が大きくなるほど、小さい分数になることを理解している。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 大きさの等しい分数をみつけたり、大きさの大小を比較したりしている。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 仮分数の加法、減法の計算をしている。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 帯分数の加法、減法の計算をしている。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 分数部分がひけないときの帯分数の減法の計算をしている。	A(5)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 仮分数を帯分数に、帯分数を仮分数に表す方法を説明している。	A(5)イ(ア)
	○ 帯分数の加法で、くり上がりのある計算方法を考え、説明している。	A(5)イ(ア)
	○ 帯分数の減法で、くり下がりのある計算方法を考え、説明している。	A(5)イ(ア)
	○ 分数の加法、減法を使って、適用問題を解いている。	A(5)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 帯分数の計算で、くり上がりのある加法やくり下がりのある減法の計算方法を考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。	
	○ 友だちが考えた計算方法を聞いて、自分の考えを見直している。	

【関連する既習内容】

学年	内容	
3	年	分数

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 分数の表し方①	1	○ 1より大きい分数の表し方を考える。	(1)イ
		・ 真分数、仮分数、帯分数の用語とその意味を知る。	
1. 分数の表し方②	1	○ 真分数、仮分数、帯分数の特徴を理解する。	(1)イ
		・ 真分数、仮分数、帯分数を分類したり、長さや水のかさを仮分数と帯分数で表す。	(1)イ, ウ
1. 分数の表し方③	1	○ 仮分数と帯分数の関係を知り、仮分数を帯分数か整数で表す。	(1)イ, ウ
1. 分数の表し方④	1	○ 帯分数と仮分数の関係を知り、帯分数を仮分数で表す。	(1)イ, ウ
2. 分母がちがう分数の大きさ	1	○ 分母がちがう同値分数があることを知る。また、分子が等しい分数では分母が大きくなるほど、小さい分数になることを理解する。	(1)イ, ウ
3. 分数のたし算とひき算①	1	○ 真分数や仮分数の加法、減法のしかたを考え、計算する。	(1)ア, ウ
3. 分数のたし算とひき算②	1	○ 帯分数の加法のしかたを考え、計算する。	(1)イ, ウ
3. 分数のたし算とひき算③	1	○ 帯分数の減法のしかたを考え、計算する。	(1)イ, ウ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で、分数の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で、分数のしくみに注目して大きさが等しい分数を考える。	

2023

年度

教科

算数

学年

4

教科書

東書

上下

下

教科書ページ

54

～

60

配当時数

4

配当月

12

～

12

大単元(題材名)	11. 変わり方調べ	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	C 変化と関係	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 伴って変わる2つの数量の関係の調べ方がわかる。
	○ 伴って変わる2つの数量の変わり方を調べて、表や式に表すことができる。
思・判・表	○ 伴って変わる2つの数量の関係を表に表したり、□や○などを用いた式に表したりして考えることができる。
	○ 伴って変わる2つの数量の関係を表に表して、その関係を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 伴って変わる2つの数量の関係について考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 伴って変わる2つの数量の関係を調べるときは、表や式を用いるよさを理解している。	A(6)ア(ウ)、C(1)ア(ア)
	○ 時計盤を使って、時計盤の針が指す表と裏の時刻の関係を□＋○＝aの式に表している。	A(6)ア(ウ)、C(1)ア(ア)
	○ 正三角形を横に並べたときのまわりの長さを□＋a＝○の式に表している。	A(6)ア(ウ)、C(1)ア(ア)
	○ 正方形を並べて階段のような形をつつたときの段の数とまわりの長さを□×a＝○の式に表している。	A(6)ア(ウ)、C(1)ア(ア)
思・判・表	○ 伴って変わる2つの数量の関係をみつけるとき、一方を順序よくかえ、もう一方の変わり方に着目している。	A(6)イ(ア)、C(1)イ(ア)
	○ 伴って変わる2つの数量の関係を表に表したり、□、○などを用いた式に表したりして考え、説明している。	A(6)イ(ア)、C(1)イ(ア)
	○ 伴って変わる2つの数量の関係を表に表して、その関係を考え、説明している。	A(6)イ(ア)、C(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 表や式に、伴って変わる2つの数量の関係を表す方法や変化の規則性などについて考え、説明している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3	年 □を使った式

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1. 変わり方調べ①	1	○ 時計盤の表と裏の時刻の関係(和が一定)を調べる。 ・ 表にまとめて、変わり方のきまりをみつける。	(1)イ
1. 変わり方調べ②	1	○ 1辺が1cmの正三角形を横に並べていくときの、正三角形の数とまわりの長さの変わり方の関係(差が一定)を調べ、きまりを式に表す。 ・ 表にまとめて、20個並べたときのまわりの長さを求める。	(1)イ
1. 変わり方調べ③	1	○ 1辺が1cmの正方形を並べて階段のような形をつつていくときの、段の数とまわりの長さの関係(商が一定)を調べ、きまりを式に表す。 ・ 表にまとめて、20段のときのまわりの長さの求め方を工夫して式化する。また、50段のときのまわりの長さを求める。 ・ 「ますりんつうしんで」で、比例の見方を知る。	(1)イ、ウ
まとめ	1	○ 「つないでいこう算数の目」で、伴って変わる2つ量の関係に注目して、2つの量の特徴を考える。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	下	62	11	1	1

大単元(題材名)	12. 面積のはかり方と表し方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 図形		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 面積の用語と意味、 cm^2 の単位を知り、方眼上の図形の面積を cm^2 の単位で表すことができる。
	○ 面積を計算で求める方法を考え、長方形と正方形の面積を求める公式をまとめ、適用することができる。
	○ 面積の単位 cm^2 , m^2 , km^2 , a, haがあることを知り、それぞれの大きさの関係がわかる。
思・判・表	○ 公式を活用して、問題を解くことができる。
	○ 公式を適用して、複合図形の面積の求め方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 複合図形の面積の求め方について、既習事項を使って考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 面積の用語とその意味を理解している。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
	○ 面積の単位 cm^2 を知り、方眼上の図形の面積を cm^2 の単位で表している。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
	○ 長方形、正方形の面積の求積公式を理解している。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
	○ 求積公式を適用して、長方形、正方形の面積を求めている。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
	○ 大きな面積の単位 m^2 を知り、 $1\text{m}^2 = 10000\text{cm}^2$ の関係を理解している。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
	○ 大きな面積の単位 km^2 を知り、 $1\text{km}^2 = 1000000\text{m}^2$ の関係を理解している。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
	○ 大きな面積の単位a, haを知り、 $1\text{a} = 100\text{m}^2$, $1\text{ha} = 10000\text{m}^2$ の関係を理解している。	A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 求積公式を適用して、まわりの長さが一定の長方形や正方形の面積を求め、気づいたことを話し合っている。	A(6)イ(ア), B(4)イ(ア)
	○ 求積公式を活用して、問題を解いている。	A(6)イ(ア), B(4)イ(ア)
	○ 求積公式を適用して、複合図形の面積の求め方を考え、説明している。	A(6)イ(ア), B(4)イ(ア)
	○ 面積の単位の関係性をまとめ、1辺の長さを10倍すると、面積が100倍になることを説明している。	A(6)イ(ア), B(4)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 求積公式を適用して、まわりの長さが一定の長方形や正方形の面積を求め、気づいたことを話し合い、自分の考えを見直している。	
	○ 求積公式を適用して、複合図形の面積の求め方を考え、その考えをわかりやすく説明する工夫をしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
1	年 どちらがひろい
2	年 長方形と正方形

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.広さの表し方①	1	○ 面積の比べ方を考え、その比べ方を説明する。	(1)イ, ウ
1.広さの表し方②	1	○ 面積の用語と意味、 cm^2 の単位を知り、方眼上の図形の面積を cm^2 の単位で表す。 ・ 1辺が1cmの正方形のいくつ分で考えると、数で表して比べられることを知る。	(1)イ
2.長方形と正方形の面積①	1	○ 面積を計算で求める方法を考える。 ・ 長方形と正方形の面積を求める公式をまとめる。	(1)イ
2.長方形と正方形の面積②	1	○ 求積公式を適用して、長方形や正方形の面積を求めたり、辺の長さを求めたりする。	(1)イ
2.長方形と正方形の面積③	1	○ 長方形を組み合わせた複合図形の面積の求め方を考える。 ・ L型の面積を、長方形に分割した求め方や大きな長方形とみて欠けた部分をひく求め方などを説明する。	(1)イ, ウ
3.大きな面積の単位①	1	○ 面積の単位 m^2 を知り、教室の面積を求める。	(1)ア

令和5年度 算数科 第4学年 評価規準

江戸川区立第四葛西小学校

3.大きな面積の単位②	1	○ 1m と 1cm の関係を調べ、 $1\text{m} = 10000\text{cm}$ の関係を知る。	(1)イ
3.大きな面積の単位③	1	○ 面積の単位 a , ha を知り、 $1\text{a} = 100\text{m}^2$, $1\text{ha} = 10000\text{m}^2$ の関係を知る。	(1)ア
3.大きな面積の単位④	1	○ 面積の単位 km^2 と $1\text{km}^2 = 1000000\text{m}^2$ の関係を知り、正方形の面積と辺の長さの関係を調べる。	(1)ア, イ, ウ
		・ 面積の単位 m^2 , a , ha , km^2 の関係をまとめる。	
4.長方形のたての長さと面積の関係	1	○ まわりの長さが 24cm の長方形の面積と辺の長さの関係を、表やグラフに表し話し合う。	(1)イ, ウ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で、面積の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	
		○ 「いかしてみよう算数の目」で、もとにする大きさに注目して、長さ、かさ、面積の表し方を考える。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	下	82	15	2	2

大単元(題材名)	13. 小数のかけ算とわり算		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 数と計算		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 小数に整数をかける乗法の意味や計算方法を理解し、筆算で計算することができる。
	○ 小数を整数でわり、あまりのない除法の意味や計算方法を理解し、筆算で計算することができる。
	○ 小数を整数でわり、あまりのある除法の意味や計算方法を理解し、筆算で計算することができる。
	○ 小数や整数を整数でわる除法で、わり進んで商が小数になる場合の筆算方法を理解し、計算することができる。
	○ 小数や整数を整数でわる除法で、わりきれない場合、商を概数で求めることができる。
	○ 除法を用いて何倍かを求め、整数や小数を用いて何倍かを表すことができる。
思・判・表	○ 小数×整数、小数÷整数の計算のしかたを、既習の整数の乗法、除法をもとに考えることができる。
	○ あまりのある小数÷整数で、あまりの大きさを考えることができる。
	○ 小数の乗法、除法を使って、適用問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 小数×整数、小数÷整数の計算のしかたについて考え、考えたことを友だちと話し合い、自分の考えを見直してまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 純小数×整数(1位数)を計算している。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ 小数×整数の計算を筆算でしている。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ 小数÷整数の計算を筆算でしている。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ 商が純小数になる計算を筆算でしている。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ あまりがある除数で、あまりの小数点は被除数の小数点にそろえて打つことを理解している。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ 整数÷整数や小数÷整数を、わりきれぬまで計算している。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ 商を上から2けたの概数で求めている。	A(4)ア(ア)(エ)
	○ 何倍かを表す数が小数になることがあることを理解し、求めている。	A(4)ア(ア)(エ)
思・判・表	○ 小数×整数の計算のしかたを、既習の整数の乗法をもとに考え、説明している。	A(4)イ(ア)
	○ 小数÷整数の計算のしかたを、既習の整数の除法をもとに考え、説明している。	A(4)イ(ア)
	○ 小数÷整数で、あまりがある場合、あまりの大きさを考え、説明している。	A(4)イ(ア)
	○ 小数の乗法、除法を使って、適用問題を解いている。	A(4)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 小数を整数に置き換えて考えたり、図や式に表したりして計算方法を考え、説明している。	
	○ 友だちが考えた計算方法を聞いて、自分の考えを見直している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3 年	かけ算の筆算(1)
3 年	かけ算の筆算(2)
4 年	小数のしくみ
4 年	わり算の筆算(1)－わる数が1けた
4 年	わり算の筆算(2)－わる数が2けた

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.小数のかけ算①	1	○ 純小数×整数(1位数)の計算のしかたを考え、説明する。	(1)ア, ウ
1.小数のかけ算②	1	○ 帯小数×整数(1位数)の筆算のしかたを考え、説明する。	(1)ア, ウ
1.小数のかけ算③	1	○ 積に0を含む小数×整数の筆算や、小数×整数(2位数)の筆算のしかたを考え、説明する。	(1)イ, ウ
		・ 0.8×5 , 7.5×4 の筆算で、積の末位の0の処理のしかたがわかる。	
1.小数のかけ算④	1	○ 小数第二位×整数(1位数)の筆算のしかたを考え、小数第二位×整数(1・2位数)の計算を筆算でする。	(1)イ, ウ
2.小数のわり算①	1	○ 帯小数÷整数(1位数)で整除の計算のしかたを考える。	(1)ア, ウ
2.小数のわり算②	1	○ 帯小数÷整数(1位数)で十の位がわりきれない筆算のしかたを考え、説明する。	(1)ア, ウ
2.小数のわり算③	1	○ 商の一の位に0がたつ小数÷整数や、小数第一位÷整数(2位数)の筆算のしかたを考え、説明する。	(1)イ, ウ
2.小数のわり算④	1	○ 小数第二位÷整数(1・2位数)の筆算のしかたを考え、小数第二位÷整数(1・2位数)を筆算でする。	(1)イ, ウ
		・ $9.48 \div 4$ や $0.24 \div 6$ の筆算のしかたを説明する。	
2.小数のわり算⑤	1	○ 帯小数÷整数(1位数)のあまりについて考え、あまりの小数点は被除数の小数点にそろえて打つことを知る。	(1)イ
2.小数のわり算⑥	1	○ 整数÷整数でわり進むときの筆算のしかたを考え、わりきれるまで計算する。	(1)ア
2.小数のわり算⑦	1	○ 小数÷整数でわり進む計算をする。また、商を上から2けたの概数で求める計算をする。	(1)イ
3.小数の倍①	1	○ 倍について考え、何倍かを表す数が小数になることがあることを知る。	(1)ア
3.小数の倍②	1	○ 何倍かを表す数が純小数になるときの、倍の意味を考える。	(1)ア
まとめ①	1	○ 「たしかめよう」で、小数と整数の乗法・除法の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。	
まとめ②	1	○ 「つないでいこう算数の目」で、乗法の性質や数のしくみに注目して、筆算のしかたを考える。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	4	東書	下	106	9	2	3

大単元(題材名)	14. 直方体と立方体		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 図形		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 直方体，立方体の用語と定義がわかる。
	○ 直方体，立方体について，頂点，辺，面の数や，まわりが平面で囲まれていることがわかる。
	○ 展開図の用語とその意味を知り，直方体，立方体の展開図をかくことができる。また，展開図から直方体，立方体をつくることができる。
	○ 直方体の面と面，辺と辺，面と辺の関係を調べ，それぞれ垂直，平行の関係がわかる。
	○ 見取図の用語とその意味を知り，直方体，立方体の見取図をかくことができる。
	○ 平面上にある点，空間にある点の位置を基準点をもとに表すことができる。
思・判・表	○ 頂点，辺，面の構成要素の数や形，その位置関係を観察し，直方体や立方体の特徴を考察することができる。
	○ 展開図から，構成要素の位置関係を考え，重なる辺，重なる頂点などを指摘することができる。
	○ 平面上の位置の表し方をもとに，空間にある点の位置の表し方を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 直方体や立方体について，それぞれの図形を構成する要素や位置関係に着目し，直方体や立方体の特徴を捉えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 直方体，立方体の用語と定義を理解している。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
	○ 直方体，立方体の頂点，辺，面の数や，まわりが平面で囲まれていることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
	○ 展開図の用語とその意味を知り，直方体，立方体の展開図をかいている。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
	○ 展開図を組み立てて，直方体，立方体をつくっている。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
	○ 直方体の面と面，辺と辺，面と辺の垂直，平行の関係を理解している。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
	○ 見取図の用語とその意味を知り，直方体，立方体の見取図をかいている。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
	○ 平面上にある点，空間にある点の位置を基準点をもとに表している。	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)， B(3)ア(ア)
思・判・表	○ 頂点，辺，面の構成要素の数や形を調べ，直方体と立方体を比較している。	B(2)イ(ア)，B(3)イ(ア)
	○ 展開図から，構成要素の位置関係を考え，重なる辺，重なる頂点などを指摘している。	B(2)イ(ア)，B(3)イ(ア)
	○ 平面上の位置の表し方をもとに，空間にある点の位置の表し方を考え，説明している。	B(2)イ(ア)，B(3)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 展開図を組み立てて，直方体や立方体の頂点，辺，面の構成要素の数やその位置関係を確認している。	
	○ 平面上の位置の表し方をもとに，空間にある点の位置を表している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
2	年はこの形
4	年垂直，平行と四角形

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.直方体と立方体①	1	○ 直方体, 立方体の用語と定義を知る。 ・ 立体の用語とその意味を知る。	(1)ア, ウ
1.直方体と立方体②	1	○ 直方体, 立方体の頂点, 辺, 面の数を調べる。 ・ 平面の用語とその意味を知る。	(1)イ
1.直方体と立方体③	2	○ 展開図をかくて, 直方体や立方体の箱をつくる。また, 展開図から重なる頂点や辺をみつける。 ・ 展開図の用語とその意味を知る。	(1)イ
2.面や辺の垂直・平行①	1	○ 直方体の面と面の垂直, 平行の関係を知る。 ・ 直方体の面と面の交わり方, 並び方を調べる。	(1)イ
2.面や辺の垂直・平行②	1	○ 直方体の辺と辺, 面と辺の関係を調べ, それぞれ垂直, 平行の関係を知る。	(1)イ
2.面や辺の垂直・平行③	1	○ 見取図の用語とその意味を知り, 直方体, 立方体の見取図をかく。	(1)イ
3.位置の表し方	1	○ 平面上にある点, 空間にある点の位置の表し方を考える。	(1)イ
まとめ	1	○ 「たしかめよう」で, 直方体と立方体の基本的な学習内容を理解しているかを確認し, それに習熟する。	
		○ 「つないでいこう算数の目」で, 面や辺の並び方や交わり方などに注目して直方体を調べる。	